

平成 29 年 10 月 1 日以降適用  
工事数量算出要領  
新旧対照表

3 章 コンクリート工



新 旧 対 照 表

改 正								現 行								備 考		
3章 コンクリート工								3章 コンクリート工								表内、数値の改正		
3.1 コンクリート工								3.1 コンクリート工										
1 適用 【省略】								1 適用 【省略】										
6 生コンクリート標準配合表								6 生コンクリート標準配合表										
生コンクリート標準配合表(1)								生コンクリート標準配合表(1)										
記号	設計基準強度 N/mm <sup>2</sup>	スランプ <sup>a</sup> cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材最大寸法 mm	最小単位セメント量 kg/m <sup>3</sup>	適用する構造物の代表例	備考	記号	設計基準強度 N/mm <sup>2</sup>	スランプ <sup>a</sup> cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材最大寸法 mm	最小単位セメント量 kg/m <sup>3</sup>		適用する構造物の代表例	備考
C-1 C-1P	— —	8.0 8.0	4.5 4.5	— —	20 又は 25 20 又は 25	— 270	基礎均し、埋戻し、縁石基礎、雨水桝等の基礎、橋面、覆道の歩道均し		C-1 C-1P	— —	8.0 8.0	4.5 4.5	— —	20 又は 25 20 又は 25	— 270		基礎均し、埋戻し、縁石基礎、雨水桝等の基礎、橋面、覆道の歩道均し	
C-4 C-4P	18 18	5.0 8.0	4.5 4.5	55 55	40 40	— 270	内陸部の(橋台、橋脚、擁壁、管渠基礎等)無筋構造物、床固工、法覆工、根固工、護床ブロック、サイフォン基礎、頭首工堤体、落差工、ダム余水吐の溢流部基礎、ガードレール支柱基礎、天端工、法覆工		C-4 C-4P	18 18	5.0 8.0	4.5 4.5	55 55	40 40	— 270		内陸部の(橋台、橋脚、擁壁、管渠基礎等)無筋構造物、床固工、法覆工、根固工、護床ブロック、サイフォン基礎、頭首工堤体、落差工、ダム余水吐の溢流部基礎、ガードレール支柱基礎、天端工、法覆工	
C-5S C-5PS	18 18	5.0 8.0	5.5 5.5	50 50	40 40	— 270	消波異形ブロック、海上及び飛沫帯の(橋台、橋脚、擁壁等)無筋構造物、(床固工、天端工、法覆工、根固工、地すべり、急傾斜、雪崩防止施設等)		C-5S C-5PS	18 18	5.0 8.0	5.5 5.5	50 50	40 40	— 270		消波異形ブロック、海上及び飛沫帯の(橋台、橋脚、擁壁等)無筋構造物、(床固工、天端工、法覆工、根固工、地すべり、急傾斜、雪崩防止施設等)	
C-7 C-7S	σ bk=4.5 σ bk=4.5	2.5 2.5	4.5 5.5	45 45	40 40	280 300	舗装工(小規模人力施工は、スランプ 6.5 cmとして良い)。		C-7 C-7S	σ bk=4.5 σ bk=4.5	2.5 2.5	4.5 5.5	45 45	40 40	280 300		舗装工(小規模人力施工は、スランプ 6.5 cmとして良い)。	
※1 C-9	—	15.0	4.0 又は 4.5	50	40	370	井筒底版等の水中のコンクリート。	完全に水中又は地下に没する場合は、空気量を4.0%とする。	※1 C-9	—	15.0	4.0 又は 4.5	50	40	370	井筒底版等の水中のコンクリート。	完全に水中又は地下に没する場合は、空気量を4.0%とする。	
C-9S	18	15.0 ～ 18.0	5.5	50	40	340			C-9S	18	15.0 ～ 18.0	5.5	50	40	340			
C-10	18	8.0	5.0	55	20 又は 25	—	胴込、裏込コンクリート、トンネル歩道舗装工(監査歩廊含む)、橋面、覆道の歩道均し		C-10	18	8.0	5.0	55	20 又は 25	—	胴込、裏込コンクリート、トンネル歩道舗装工(監査歩廊含む)、橋面、覆道の歩道均し		
RC-1	21	12.0	4.5	55	40	280	内陸部の(橋台、橋脚、擁壁等)鉄筋構造物、用水路、カルバート、樋門、ファームボート、トンネル巻出し坑門工、ダム洪水吐、頭首工柱、井筒等の鉄筋構造物。		RC-1	21	8.0	4.5	55	40	280	内陸部の(橋台、橋脚、擁壁等)鉄筋構造物、用水路、カルバート、樋門、ファームボート、トンネル巻出し坑門工、ダム洪水吐、頭首工柱、井筒等の鉄筋構造物。		
RC-1S (b), (c) RC-1S (a)	21 21	12.0 12.0	5.5 4.5	45 50	40 40	300 280	海上及び飛沫帯の(橋台、橋脚、擁壁、井筒、カルバート、トンネル巻出し坑門工、樋門)鉄筋構造物。		RC-1S (b), (c) RC-1S (a)	21 21	8.0 8.0	5.5 4.5	45 50	40 40	300 280	海上及び飛沫帯の(橋台、橋脚、擁壁、井筒、カルバート、トンネル巻出し坑門工、樋門)鉄筋構造物。		
【省略】								【省略】										

新 旧 対 照 表

改 正								現 行								備 考		
生コンクリート標準配合表 (2)								生コンクリート標準配合表 (2)								備考		
記号	設計基準強度 N/mm <sup>2</sup>	スランプ cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材最大寸法 mm	最小単位セメント量 kg/m <sup>3</sup>	適用する構造物の代表例	備考	記号	設計基準強度 N/mm <sup>2</sup>	スランプ cm	空気量 %	最大水セメント比 %	粗骨材最大寸法 mm	最小単位セメント量 kg/m <sup>3</sup>		適用する構造物の代表例	備考
<u>RC-2</u>	<u>24</u>	<u>12.0</u>	<u>5.0</u>	<u>55</u>	<u>20又は25</u>	<u>280</u>	<u>水路橋、揚排水場基礎(ピア、桁、スラブを含む)構造物、鋼橋床板等</u>		—	—	—	—	—	—	—	—	—	表内、数値の改正
RC-2-1	24	<u>12.0</u>	4.5	55	40	280	深礎杭 内陸部の(橋台、橋脚、擁壁、井筒、カルバート、トンネル巻出し坑門工等)鉄筋構造物。		RC-2-1	24	<u>8.0</u>	4.5	55	40	280	深礎杭 内陸部の(橋台、橋脚、擁壁、井筒、カルバート、トンネル巻出し坑門工等)鉄筋構造物。		表内、字句および数値の追加
RC-2-1S (b)、(c)	24	<u>12.0</u>	5.5	45	40	300	海上及び飛沫帯の(橋台、橋脚、擁壁、井筒、カルバート、トンネル巻出し坑門工等)鉄筋構造物。		RC-2-1S (b)、(c)	24	<u>8.0</u>	5.5	45	40	300	海上及び飛沫帯の(橋台、橋脚、擁壁、井筒、カルバート、トンネル巻出し坑門工等)鉄筋構造物。		
RC-2-1S (a)	24	<u>12.0</u>	4.5	50	40	280	工等)鉄筋構造物。		RC-2-1S (a)	24	<u>8.0</u>	4.5	50	40	280	工等)鉄筋構造物。		
<u>RC-3</u>	<u>30</u>	<u>12.0</u>	<u>5.0</u>	<u>55</u>	<u>20又は25</u>	<u>280</u>	<u>橋面舗装</u>		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
RC-4	24	<u>12.0</u>	5.0	55	20又は25	280	内陸部の(RCスラブ橋、RCT桁、鋼橋[非合成]床版等)構造物。		RC-4	24	<u>8.0</u>	5.0	55	20又は25	280	内陸部の(RCスラブ橋、RCT桁、鋼橋[非合成]床版等)構造物。		
RC-4S (b)、(c)	24	<u>12.0</u>	6.0	45	20又は25	330	海上及び飛沫帯の(RCスラブ橋、RCT桁、鋼橋[非合成]床版等)の構造物。		RC-4S (b)、(c)	24	<u>8.0</u>	6.0	45	20又は25	330	海上及び飛沫帯の(RCスラブ橋、RCT桁、鋼橋[非合成]床版等)の構造物。		
RC-5	30	<u>12.0</u>	5.0	55	20又は25	280	橋面舗装、内陸部の(プレテンPC中詰、合成桁床版等)構造物。		RC-5	30	<u>8.0</u>	5.0	55	20又は25	280	橋面舗装、内陸部の(プレテンPC中詰、合成桁床版等)構造物。		
RC-5S (b)、(c)	30	<u>12.0</u>	6.0	45	20又は25	330	海上及び飛沫帯の(プレテンPC中詰、合成桁床版等)構造物。		RC-5S (b)、(c)	30	<u>8.0</u>	6.0	45	20又は25	330	海上及び飛沫帯の(プレテンPC中詰、合成桁床版等)構造物。		
RC-11	30	18.0	4.0	55	20又は25	350	場所打杭等の水中コンクリート。		RC-11	30	18.0	4.0	55	20又は25	350	場所打杭等の水中コンクリート。		
<u>RC-11-1</u>	<u>40</u>	<u>18.0</u>	<u>4.0</u>	<u>55</u>	<u>20又は25</u>	<u>350</u>			—	—	—	—	—	—	—	—	—	野線の削除
<u>RC-12</u>	<u>30</u>	<u>12.0</u>	<u>4.5</u>	<u>55</u>	<u>40</u>	<u>280</u>	<u>RC-2-1に相当する高強度鉄筋(SD390,SD490)を採用する場合の鉄筋構造物</u>		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
<u>RC-12S</u> (b)、(c)	<u>30</u>	<u>12.0</u>	<u>5.5</u>	<u>45</u>	<u>40</u>	<u>300</u>	<u>RC-2-1Sに相当する高強度鉄筋(SD390,SD490)を採用する場合及び、塩害の影響が懸念される下部構造の鉄筋構造物</u>		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
<u>RC-12S</u> (a)	<u>30</u>	<u>12.0</u>	<u>4.5</u>	<u>50</u>	<u>40</u>	<u>280</u>	<u>海上及び飛沫帯の下部構造物(橋台、橋脚)</u>		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
<u>RC-a</u>	<u>21</u>	<u>12.0</u>	<u>5.0</u>	<u>55</u>	<u>20又は25</u>	<u>280</u>	<u>水密性を必要とする構造物、水路、フェームポンド</u>		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
PC-1	30	<u>12.0</u>	5.0	50	20又は25	280	内陸部の(ホーステンPC桁中詰等)構造物。		PC-1	30	<u>8.0</u>	5.0	50	20又は25	280	内陸部の(ホーステンPC桁中詰等)構造物。		
PC-1P	30	<u>12.0</u>	5.0	50	20又は25	280			PC-1P	30	<u>8.0</u>	5.0	50	20又は25	280			
PC-1S (b)、(c)	30	<u>12.0</u>	6.0	45	20又は25	330	海上及び飛沫帯の(ホーステンPC桁中詰等)構造物。		PC-1S (b)、(c)	30	<u>8.0</u>	6.0	45	20又は25	330	海上及び飛沫帯の(ホーステンPC桁中詰等)構造物。		
PC-1PS (b)、(c)	30	<u>12.0</u>	6.0	45	20又は25	330			PC-1PS (b)、(c)	30	<u>8.0</u>	6.0	45	20又は25	330			
PC-2	40	<u>12.0</u>	5.0	50	20又は25	280	内陸部の(ホーステンPC桁等)構造物。		PC-2	40	<u>8.0</u>	5.0	50	20又は25	280	内陸部の(ホーステンPC桁等)構造物。		
PC-2P	40	<u>12.0</u>	5.0	50	20又は25	280			PC-2P	40	<u>8.0</u>	5.0	50	20又は25	280			
PC-2S (b)、(c)	40	<u>12.0</u>	6.0	45	20又は25	330	海上及び飛沫帯の(ホーステンPC桁等)構造物。		PC-2S (b)、(c)	40	<u>8.0</u>	6.0	45	20又は25	330	海上及び飛沫帯の(ホーステンPC桁等)構造物。		
PC-2PS (b)、(c)	40	<u>12.0</u>	6.0	45	20又は25	330			PC-2PS (b)、(c)	40	<u>8.0</u>	6.0	45	20又は25	330			
※2 T-1P	18	8.0又は15.0	4.5	60	40	270	トンネルの覆工(アーチ、インバートコンクリート)。		※2 T-1P	18	8.0又は15.0	4.5	60	40	270	トンネルの覆工(アーチ、インバートコンクリート)。		
※3 TRC-1P	24	8.0又は15.0	4.5	60	40	280	トンネルの覆工(坑口部アーチ、インバートコンクリート)。		※3 TRC-1P	24	8.0又は15.0	4.5	60	40	280	トンネルの覆工(坑口部アーチ、インバートコンクリート)。		

【省略】

【省略】